

平成28年度 第20回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成28年11月2日(水) 14:35～16:05

場所：理学部 E211 講義室

講師：高木 紘 氏(数理分子生命理学専攻 D3)

演題：植物の生存適応戦略に魅せられて—圃場から分子まで—

要旨：植物は動物のように移動する能力を持ちません。これは、周囲の環境が自分にとって好ましくないものになってしまっても逃げ出すことができないということです。外で生きていけば、暑くもなるし、寒くもなるし、水や栄養が足りなくなると、気付いたら病原菌に侵されているかも知れません。このように絶えず変化していく環境に適応するため、植物は様々なストレス適応機構を獲得しています。私はこれまで圃場という大きなスケールで、また分子という小さなスケールで、一貫して植物の生存戦略に関わる研究を行ってきました。今回は特に思い入れが強い、塩害の研究と窒素代謝の研究を紹介したいと思います。また、それらを通して、私の研究生活がどのようなものであったか感じてもらい、僅かでも後輩学生さんの今後の指針になれば幸いです。